



所在地：印旛郡印西町大塚1-5  
施主：(株)竹中工務店  
設計：(株)竹中工務店東京本店設計部  
施工：(株)竹中工務店東関東支店

景観に配慮した一般建築物  
竹中工務店技術研究所



田園と雑木林の穏やかな広がり、ところどころ谷津が切り込む典型的な北総地域の風景の中に、人工的な緑の丘が周囲の環境に馴染みつつ、低層でシャープな高度に洗練された白い建築が見えかくれる。その姿は、人と自然の技術的共存として、見るものに未来都市のイメージさえも与えている。

この作品は、千葉ニュータウンのセンターとして整備が進む中央駅に位置する。評価する点をあげると――

- ①あえて集約的な高層建築とせず、水と緑と光に接する研究所として、現状の豊かな自然環境を保持し、積極的に取り込もうとしている事。
- ②21世紀を目の前にして、変わりつつあるライフスタイルに適応した、働く場の環境を新たに提案しようとしている事。
- ③日本の表玄関としての国際空港が立地する千葉県にとって、空から見えるランドマークとして、県民にとってのシンボルとしての役割も担っている事。

以上の点が指摘できる。

今後、街の開発が進みアーバンティニーが高まる中で、自然に対する姿勢を保ちつつ、この研究所が住民に開かれた、うるおいとやすらぎとテクノロジーが調和した施設として、周囲の街づくりに寄与していくことを期待する。

(工藤和美 委員)

